

弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い 平成31年度 第1回定例会（第13回）報告

日 時	平成31年4月21日（日）午前10時～正午
場 所	多摩の里 けやき園 地域交流スペース
参加者	25人 〈地区住民16名：自治会役員含む〉 〈関係者6名〉多摩の里けやき園、市福祉総務課、東久留米消防署 西部地域包括支援センター、デイサービス一期一笑 〈社協3名〉大澤次長、大櫛主査、江連
配布資料	(1) 次第 (2) 弥生地区「住みよいまちづくりの向けた集い」前回（2月17日） の話し合い（概要） (3) 今年度（平成31年度）の活動スケジュール（案） (4) 弥生地区地図（世帯・人口） (5) 出席者アンケート

1 挨拶

大澤次長、市福祉総務課 明日係長、けやき園 柴施設長、東久留米消防署 藤島氏

2 自己紹介／困りごと・気になること・取り組んでいることの共有

- 1丁目の高齢化が進み、今までは自治会だけで行ってきた色々な催しや講習会等をやめざるを得なくなったが、住みよいまちづくりの集いの活動に積極的に参加し、協力し合えば、経費削減にもなるし地域の住民や子どもの顔を覚えられる。最近では子ども達も挨拶をしてくれるようになり、良かったと思う。
- 引越しして5年程になるが、この地区はお年寄りが多い印象が強い。年寄り世帯が多くなるとお互いに助け合わないと上手くいかないと思い、自分も積極的に若い世代の人達と話す機会を作ったり、子ども達を見守ったりと、今後も協力していけたらと思う。
- 自治会や活動をもっと参加しやすい形にするため、会長は一年引き継ぎでの交代制の議案を出して通してもらった。これでもっと色々な人達が関わり、情報交換して行けたら良いと思う。
- お茶会（毎月第三火曜日の午後2時～4時、弥生台自治会集会所、会費100円）は弥生地区の方だけでなく、小平の方でも市内の方どなたでも気軽に寄っていただける事を目指したい。男性は特に大歓迎です。
- けやき園のご協力で、ストレッチ体操やラジオ体操第一などを開催している。体づくりも大切なので、ぜひ色々な方に参加してもらいたい。
- 市の環境美化推進員の活動として毎週ゴミ拾いをしているが、煙草の吸殻が多いのが気がかりである。
- 気軽に集まり歌える場所を作り、交流の輪を広げる事を目的とした発案ができた。

「サロンやよい」（月1回の歌声喫茶）を具体化したい。

3 前回のふりかえり

事務局：お手元の『前回の話し合い』と弥生地区地図をご覧ください。地図は前回、簡単な地図が欲しいとのお声をいただき作成しました。各自治会で区域を分けている。弥生地区637世帯に関して、弥生一丁目と二丁目の各世帯、高齢化率を65歳以上、75歳以上、90歳以上の方で分けて記載している。今回は定例会の目的を共有するという事で、この集まり自体が平成29年度より皆様のお声を集めて始まり、今年で三年目となります。井戸端会議の様に、地域の困りことや気になっていること、取り組んでいる事などを話していただき、皆で情報共有します。また地区内での顔の見える関係づくりという事で、地区内でのお茶会や歌声喫茶「サロンやよい」など、急がず無理なく、皆で継続的に取り組むことを目的とした集まりです。

○前回の振り返り

(1) 困りごと・気になること・取り組んでいること

【意見】

- ・空き家が気になる。
- ・良い事でも悪い事でも伝える事が大切である。
- ・消防署は少人数でも訓練指導してくれるが、住民をその気にさせて盛り上げてから活動した方がより人が集まるのではないか
- ・犬の糞が目立つ。
- ・自治会を脱会する人が増えている
- ・地区住民を対象とした定期的な集まりの場を作りたい。

事務局：社協は、小さな集まりの立ち上げから継続的な運営まで、落ちつくまでお手伝いしている。集まりの対象は、高齢者だけでなく子どもから大人まで幅広い層に利用してもらいたいと考えている。現在、弥生地区は新規戸建が増えており、高齢者だけではなく、確実に若い人や子どもたちの数も増え、関わる機会が増えてくる事を踏まえて今後の活動に取り組んでいけたら良い。

○今後の定例会（方向性、開催頻度、皆で取り組むこと）について

事務局：前回、今後の定例会の方向性、開催頻度について話し合い、今後は事務局と皆で一緒に取り組んでいくことが決まった。開催頻度は2か月に1回、偶数月の第三日曜日午前10時から正午までと決まった。

【意見】

- ・活動は、今後も縮小すること無く、徐々に大きくして未来に繋げたい。社協で種を蒔いてくれたので、それを私たちが自主的に広げることが最初の意図であったと思う。
- ・3年経過し、皆に横の繋がりが出来てきた。この活動は良いことだったと思う。
- ・社協の主体的な関わりは2020年頃を目途とし、その後は各自治会の役員や参加で

きる人達が主体となってやっていけたら良いのではないか。

- ・広報について、活動したことを活字だけではなく、くるくるチャンネル(市のコミュニティーサイト)等で写真掲載出来るのではないか。

事務局：顔の見える地域づくりのための交流イベント「秋まつり」開催が決まった。

【意見】

- ・災害時の助け合いは、顔の見える環境があって自然に出てくるものではないか。
- ・防災訓練等も必要だが、顔が見える地域づくりをしていくのが良い

事務局：災害時に配慮が必要な人の支援、地域防災について話し合っていくことが決まった。

【意見】

- ・「自分たちのまちは自分達で何とかしていこう」という意識を持たないと災害時の助け合いはできていかないのではないか

事務局：地域課題への取り組みについては、以下の意見が寄せられました。

【意見】

- ・街角防災訓練、消火器やAED訓練を実施してはどうか。
- ・もしもの時のためのAEDマップ作りが出来たら良いのでは。
- ・各家庭で古くなった消火器を公園に持ちより、捨て方の講習会を開いてほしい。
→消防署で未使用の消火器の処分は出来ないが、近隣の設備業者の紹介は可能。

【アンケートでの感想や意見】

- ・自分自身の知らない事も多く、横の繋がりにより色々な面で勉強になった。
- ・皆と力を合わせ、近所の人と交流が出来る簡単なイベント（食事会など）、顔と名前が一致するような交流が出来ると良い。
- ・地区周辺の簡単な地図が欲しい。

4 今年度の活動スケジュール

事務局：定例会は、活動スケジュール案のとおり開催します。

(1) 交流イベント「秋まつり」について

- ①話し合いをいつからするか ②準備はどれぐらい前から始めたら良いのか
(4班に分かれて話し合い、各班より全体に発表)

【第1班】

皆の意見を聞いて「焼き鳥」か「焼き芋」か「焼きそば」など、何をやるのか決めたい。若い世代の方が増えたので、お子さんを連れて来てもらい、母親だけでなく父親も参加出来たら、その場で役割分担を決めてやろうと思う。

【第2班】

若い人が知らない「昔遊び」を取り入れたい。昨年同様、近隣や小平の幼稚園や

小学校の運動会の日程を事前に調べ、日程が重ならないようにしたい。

【第3班】

開催日は、話し合いの時間が取れないと困るので、このまま11月17日（日）で行いたい。

内容は去年同様に「歌声喫茶」が良い。女性陣が座ってお茶しながら楽しんでいたので、その形は引き継ぎたい。また「射的」が男女ともに受けていたのでやりたい。「輪投げ」を当番したが、次は他の方に担当を譲りたい。折り紙コーナー、大きめのカルタをやりたいが、作る暇がないので消防か警察の方など、どなたか持っていないか。そうすれば出来ると思う。

また、「石蹴り」や「けんけんぱ」など地面を使ってできる昔ながらのゲームが良いのでは。去年同様、スタンプカードを首からかけて100円の会費を設け、帰りに100円分のお菓子をお持ち帰りいただく。食べ物に関しては再検討したい。座れなかった方もいたので、座席をもう少し広く設けても良いのではと思った。

【第4班】

日程は、小学校や中学校の運動会等の行事は10月中で終わり、12月に入るとまた行事が重なるので、11月17日（日）が良いと思う。話し合いは8月頃から本格的に始め、もし早い方が良ければ6月頃からイベントの内容など決めて行きたい。

一昨年夏の夏の映画のイベントの時には、9小地区と西中地区の青少協（なのはな会）の係の方、子ども会の係の方が一緒に参加して下さった為、映画の時は若い方や子ども達が多かった。

今後は、子ども会の係の方々にも話し合いの段階から参加してもらい、一緒につくっていく事で、この住みよいまちづくりの集いにも入ってきやすいきっかけになるのではないかと。青少協や子ども会関係者にも声掛けをして、一緒に考えることをすると、その人達の意識も変わり、引き継がれていくのではないかと。それをきっかけに年齢が上の方達だけの集まりではなく、若い方を増やしていければ良い。そして「昔遊び」を経験させてあげたいと思う。建物のことなどについては、今後話し合っていけたらいいと思った。

事務局：11月が幼稚園や各小中学校のイベントと重ならないという点ですが、一つだけ現段階でわかっている情報で、11月16日（土）午前中は、市内全ての小学校が学校公開ということです。午前中を準備活動にしてしまうと、小中学校の親御さんの参加が難しくなるので、午後から出来れば良いのかなと思います。

話し合いは、次回から継続的に話し合っていく感じです。6月、8月、10月と考えて行って、当日を迎えられると良いのではないかと。

運営の仕方について、子どもを持つ親御さん達にも一緒に考えて作っていくやり方が良いというご意見がありました。実際に役割分担、手伝ってもらおうということ。前回は、準備から開催まで期間が短かったため、所属している児童にお知らせいただく協力をいただきました。例会の開催をお知らせしていますが、お仕事もあり、この場に参加することは難しいところです。

方向性としては、若い人達とも一緒に考えて行く為に、場合によっては定例会は日曜日ではなく平日の夕方が良いのかもしれない。

内容は、前回の昔遊びの内容、射的や輪投げ、ぶんぶん駒や折り紙にも参加していただき、紙で簡単に作れる紙ヘリコプターなども子ども達が楽しんでいました。その他、デイサービス事業所に大きいかるたがあるということなので、借りることができるかもしれない。また、歌声喫茶の座席が少なかったなので、席数を増やせたらということです。

昔遊びの意見がありましたが、ぜひ皆様方が熟知された遊びを子ども達に伝えていただき、また新しいメニューを増やしていけたら良いなと思います。今後の話し合いは次回6月からということで、今回出たアイデアを検討しながら、お金のことなど含めて検討していけたらと思います。

参加者：西中青少協で今度イベントがありますが、9小や下里小などのPTAも巻き込み、若いお母さん方や子ども達をたくさん集めたいと思い、なのはな3班、10班にも声をかけています。

(2) 災害時に配慮が必要な方への支援

事務局：災害時に配慮が必要な方の支援、街角防災訓練などいくつかアイデアが出されています。集いとしてこういう事をやりたい、いつやるのか等アイデアの段階でも構わないので話し合っていきたい。その前段として、現在市内で起きている災害について、注意喚起も含めて消防署の藤島さんよりお話をお願いします。

消防署：東久留米では昨年焼損面積が出ず、家が燃える事はなかったと2ヵ月前に発表しましたが、年が変わってからは残念ながら火災が結構発生しています。その為、人が亡くなる様な火災の傾向をお話します。

最近ではお家が大きく燃える事は比較的少なく、皆さんが気付いて火を消してくれたり、早く通報してくれるお陰で、大きな火災が減ってきています。火災自体も減っているので、火災による死者も減少しているのかと思うと、意外と火災による死亡者数は減っていません。

理由としては、高齢者が多くなっていることです。若い方は気づいて逃げるのが早いですが、どんな小さな火事でも煙は発生する為、逃げ遅れると煙にまかれて亡くなるケースが昔と比べて多くなっている。そのため全体的にみると火災による死亡者数は大きくは変わらない。

また、発生原因も変わってきており、昔は放火などがあり、家の周りに燃えやすいものを置かないようにと広報をだしていた。最近では、放火による火災が減少傾向にある。

最近、増加傾向にあるのが電気関係の機具、電気配線から火災が発生するケースです。常に電気は流れているので、いつ火災が発生するのか予測が難しい為、気づくのが遅れるケースもある。例えば、深夜就寝中に天井裏で火災が発生していることもある。ただ、天井裏の配線からいきなり火が出る事はほとんど無く、金属疲労

が原因で、箆筒の下で配線が潰れて破損していたり、箆筒裏のコンセントに埃が溜まっていたり、たまにしか使わない電気器具（ストーブや扇風機などの季節家電）の配線が劣化した状態で電源を入れ、知らない内に火が出ていることが増えている。

また、レアケースですが、4月に中央町で雷が落ち火災につながるという事もあった。また、着衣に直接燃え移ってしまうケースで多いのが、仏壇のロウソクや、ガスコンロから燃え移り、素材によっては表面一気に広がり首の所まで火が回り、火傷を負う事もある。特に東久留米は4年ほど前、私が異動して来た頃から電気火災が増加傾向にあるので、気をつけていただきたいと思います。

特に多いのが、ガスコンロ周辺、電気ストーブ、煙草の3つである。今年の東久留米の火災件数27件の内、20件ほどがこの3つほぼ同数による住宅火災である。これらを気をつけていただければ火災が減ると思うので、この3点は要注意をお願いします。

もしも「秋まつり」でスペースをお借り出来れば、そこで心肺蘇生の訓練やテントを張って、その中で煙を焚き、火災時の煙によってどれほど周りが見えなくなるか体験することも出来る。玄関先などの目立つ所でやれば客寄せになると思うので有効活用していただければと思います。「秋まつり」で訓練もやりたいと消防署にご相談いただければいつでもお手伝いできるので、ご検討願います。以上です。

参加者：最近倒れると自動で消えるストーブも多いが、これでもだめなのか？

消防署：例えば寝室に置いて、寝ている時に寝返りなどの拍子で布団がストーブに触れる。接近して火災につながるケースが多い。また、コタツと併用して使っている方は、例えばコタツで座椅子に座っている方で、出入りの際に座椅子をコタツの中に押し込む反動で、カバーや布団が上に上がり、ストーブに触れてしまう又は接近してしまい、しばらくすると火災につながることもある。布団は無煙現象で炎が上がらず、熱が溜まり、一気に発火する事もある。

参加者：煙火探知機は全てのお宅に付いていないのか？

消防署：ついていない家もあります。本来、平成22年から条例化ですべての居住区間、住宅に付けるように義務付けられている。設置場所としては部屋、階段、廊下、台所など居住空間全てですが、そんなには付いていないというお宅が多い。また、つけている事に安心して、定期的に点検を行っているお宅は少なく、設置を義務付けられた平成22年から10年近く経っている為、電池が切れてしまっていて作動せず、亡くなる場合もある。また電化製品なので本体が壊れてしまっている場合もある。

事務局：ありがとうございます。今のアイデアも含め災害時の対策の話し合いをお願いします。（3班に分かれて話し合い、各班より全体に発表）

【第1班】

以前から自治会でも防災訓練をしたいと話してはいたが、より多くの人に集ってもらえる様に、秋まつりの抱き合わせとして防災訓練をしない手はない。人の集まる場で行えば意識も変わるし、例えば赤い消防車が1台停まっているだけで注目するし、そこから意識が高まればと思う。レスキュー隊員の知人の話によると本当に怖いのは火ではなく煙だという。煙を体験するのが良いと思う。また、市の防災マップは完成度が高いので、全部の家に配りたい。

【第2班】

参加者：以前は自治会区域の中に、いくつか消火器が設置してあったが、あれは消防署が設置していたのか。

消防署：街中の消火器の設置に関しては、消防署は全く関知していないし、どこに設置しているのかも把握していない。市役所や各自治会で設置しているのではないか。

参加者：消火器に使用期限はありますか？

消防署：あります。人が多く出入りする公共施設では1年に1度点検している。家庭用の物は特に点検の義務は無いが、10年を超えた物は状態がどの様になっているか不安である。

参加者：AEDの設置はどうですか？

消防署：AEDの設置に関しても、消防署は一切関与していない。各団体や施設が購入して設置している。その為、消防署では設置場所も把握していないし、仮に把握していても、各団体や施設の財物になるため、マップを作ったり勝手に設置場所を他者に公言する事は出来ない。

【第3班】

消防署の方が提案された、テントでの煙体験はぜひやりたい。また、AED体験を行いたい。実際に見た事もない人もいるので、使い方のお手本を見せてもらうだけでも良い。

事務局：例えば、例会でやっていただくことは可能か？

消防署：事前に言っていただきければ可能。

事務局：試しにAED体験を次回の例会で行う事も可能なので、要望があれば、出席者アンケートにご記入ください。

【第4班】

秋まつりで、防災への体験や取り組みを行うのは大変良い事だと思った。また、昼間よりも夕方の方が子供達が集まりやすいとの意見を踏まえ、秋まつりで一度体験的に「子ども食堂」をやってみたい。その際、子ども食堂ではなく「地域食堂」とし、一人暮らしのお年寄や独身の方など多くの人達に来てもらいたい。キッチンを使わせてもらいたい。(食事の提供には保健所の許可が必要)。

事務局：ありがとうございます。防災に関して、秋まつりに抱き合わせで防災訓練を行う方向ですね。老若男女、たくさんの方が集まる企画になると思うので、一緒に考えて行きましょう。

内容に関しても、次回の例会やアンケートでご提案下さい。時間の都合上、広報について話し合いできなかったが、次回引き続き話し合っていきたいと思います。若い世代にどのように広報するか、転入者など若い世代を自治会にお誘いをする際に、この例会のお知らせもしていただければと思います。なかなか若い人達の声や考え方を知る機会がないので、そのことについても考えていけたらと思います。最後に、生活

支援コーディネーターの野島さんからお話があります。

包括：介護福祉課の事業ですが、6月から「シャキシャキ介護予防教室」「若さを保つ元気食教室」「お楽しみ基礎体力測定」のイベントがあります。全て無料で参加できるので特に男性の方お待ちしております。女性の方も、栄養士の先生が教えてくれる講座もあります。1回目は皆でお弁当を食べて、何品目入っているかを勉強します。

事務局：お帰りの際、ぜひ資料をお持ちいただき、近隣の方にもお知らせ下さい。

市役所：皆さん、今日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。前回同様この様な座談会で皆さんの意見をまとめ、次に繋げていくという形になり、少しずつ社協主導から皆さん主導へという形に切り替わりつつあるのかなと思っています。次回は秋まつりの話も具体的になっていくと思うので、皆さんご参加の程お願いします。本日はありがとうございました。

事務局：今日の例会ですが、お一人の方が準備のために開催30分前にきていただきました。例会は通常10時からですが、今後可能な方は早めにお越しいただき、一緒に準備ができたと思います。またこの後、お手すきでしたら後片付けをお手伝いいただけたらと思います。それでは、本日は以上で終了とさせていただきます。ありがとうございました。

以上

「住みよいまちづくり」に向けた集い 平成31年度 第1回定例会（第13回）

日時 平成31年4月21日（日）午前10時～正午

場所 多摩の里 けやき園 地域交流スペース

次 第

- 1 挨拶
- 2 自己紹介／困りごと・気になること・取り組んでいることの共有
- 3 前回のふりかえり
- 4 今年度の活動スケジュール
 - (1) 交流イベント「秋まつり」
 - (2) 災害時に配慮が必要な方への支援
(街角防災訓練、消火器・AED訓練、防災マップづくり)
 - (3) その他
- 5 地域に広く周知するための広報・PR
- 6 その他

※ 今後の予定

- ・「住みよいまちづくり」に向けた集い（場所：けやき園 地域交流スペース）
日時 6/16（日）午前10時～正午

弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い 前回（2月17日）の話し合い（概要）

○ 「住みよいまちづくり」に向けた集い（定例会）の目的の共有

- （1）困りごと・気になっていること・取り組んでいることなど、情報を共有する。
- （2）地区内で「あるといいこと」「できたらいいこと」「顔の見える関係づくり」について話し合い、急がず無理なくできることに取り組む。

○ 気になること、気づいたこと、取り組んでいること

- 空き家が気になる。 ■ 良いことでも悪いことでも伝えることが大切である。
- 消防署は少人数でも訓練指導してくれるが、やはり住民をその気にさせて、盛り上げてから活動したほうが人は集まる。 ■ 犬の糞が目立つのが気になる。 ■ 自治会を脱会する人が増えているのが気になる。 ■ 地区住民を対象に定期的な集まり（歌を歌ったり、お茶を飲んで色々な話ができる場）をつくりたい。←（社協）地区内の小さな集いの活動に対し、活動の立ち上げから運営が落ち着くまでお手伝いしている。集いの対象は、子どもから大人まで限定はしていない。いつでも相談を受け付けている。

○ 今後の定例会（方向性、開催頻度、皆で取り組むこと）について

■ 2か月に1回（偶数月の第3日曜日、午前10時～正午）開催する。

（意見）・せっかくいいかたちになっているので、縮小することなく、ちょっとでいいから大きくして行って未来につなげていけたらいい。

- ・社協で種をまいてくれたので、それを私達が自主的に広げていくことが最初の意図であったと思う。3年経過して皆に横のつながりができてきたので、これは絶対がいいことだったと思う。
- ・社協の主体的な関わりは5年（2020年）が目途ではないか。その後は各自治会の役員や参画できる人たちが中心となり、手伝ってもらえるところはしてもらおうと良いのではないか。
- ・広報について、活動したことを活字だけではなく「くるくるチャンネル」（市のコミュニティサイト）に写真入りで掲載できると良いのではないか。

■ 顔の見える関係づくりのための交流イベント（秋まつり）を実施する。

（意見）・災害時の助け合いは、顔の見える関係があって自然に出てくるものではないか。防災訓練等も必要だが顔がみえる地域づくりをしていくのが良いと思う。

■ 災害時に配慮が必要な方の支援、地域防災について話し合っていく。

（意見）・「自分たちのまちは自分たちでなんとかしていこう」という意識をもたないと災害時の助け合いはできていかないのではないか。

○ 地域課題（災害時に配慮が必要な世帯）への取り組み

■ 街角防災訓練（少人数・短時間・近所での防災訓練）、消火器・AED訓練、AEDの配置マップ

（意見）・各家庭に声をかけて古くなった消火器を公園に持ってきてもらい、捨て方の講習会を開いてもらえたら良いのではないか。←（消防署）未使用の消火器の処分は消防署でできないが、近隣の設備業者の紹介はできる。

● 出席者アンケートでの感想や意見

- ・自分自身の知らないことも多く、横のつながりにより、色々な面で勉強になりました。
- ・皆と力を合わせて、近所の人と交流ができる簡単なイベント（食事会など）、顔と名前が一致するような交流ができると良い。
- ・自分が所属している自治会以外は場所など不明の為、簡単な地図を配布してほしい。

弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い
今年度(平成31年度)の活動スケジュール(案)

活動月／内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月
定例会 10時～正午	21日(日)		16日(日)		18日(日)	
交流イベント 秋まつり						
防災 活動						
その他						

活動月／内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会	20日(日)		15日(日)		16日(日)	
交流 イベント 秋まつり		16日(土) 前日準備 17日(日) 当日運営				
防災 活動						
その他						

弥生地区 基礎資料（乳幼児、小・中学生、高齢者、障がい者、避難者）

＜地区名：弥生1丁目、2丁目＞

項目		地区全体	弥生1	弥生2	市全体	時点
1. 人口		1,411人	972人	439人	116,830人	H30. 1. 1
2. 乳幼児人口 0～6歳		57人	44人 (5%)	13人 (3%)	6,473人 (6%)	H30. 1. 1
3. 小学生人口 7～12歳		82人	46人 (5%)	36人 (8%)	5,747人 (5%)	H30. 1. 1
4. 中学生人口 13～15歳		44人	25人 (3%)	19人 (4%)	3,157人 (3%)	H30. 1. 1
5. 高齢人口 65歳以上（高齢化率）		469人	329人 (34%)	140人 (32%)	32,648人 (28%)	H30. 1. 1
6. 高齢人口 75歳以上（高齢化率）		251人	160人 (16%)	91人 (21%)	6,489人 (6%)	H30. 1. 1
7. 高齢世帯数（推計） 弥生1：436世帯 弥生2：201世帯		212世帯	148世帯	64世帯	5,504世帯	H30. 1. 1
8. 認知症高齢者（推計） ※2012年462万人（約7人に一人）		67人	47人	20人	1,876人	H30. 1. 1
9. 避難者数（推計） ※立川断層帯地震 想定 17,650人		213人	147人	66人	17,641人	H30. 4. 1
10. 障害者 手帳 所持者数 （推計）	身障手帳 （市人口割 0.0275）	40人	28人	13人	3,380人	H30. 4. 1
	療育手帳（愛の手帳） （市人口割 0.0074）	10人	7人	3人	886人	H30. 4. 1
	精神保健福祉手帳	12人	8人	4人	935人	H30. 4. 1
11. 民生・児童委員数		1人	1人	0	56人	H30. 4. 1
12. 社協会員（個人）数		71人	63人	8人	4,509人 (4%)	H30. 7. 5
13. 防災関係 施設・団体	緊急指定避難場所	第九小学校、丸井総合グラウンド （小平第十一小学校、小平第六中学校）			24か所	H29. 10. 1
	二次避難所	けやき園（高齢）			36か所	H29. 10. 1
	第九小学校 避難所運営連絡会	前沢五丁目けやき会、前沢五丁目さつき会、 <u>小河内自治会</u> 、 <u>コムシス東久留米ハイツ自治会</u> 、 <u>通信住宅自治会</u> 、 <u>滝山南自治会</u> 、 <u>テラステン滝山自治会</u> 、 <u>滝山五丁目自治会</u> 、 <u>東久留米弥生自治会</u> 、 <u>新弥生自治会</u> 、 <u>弥生台自治会</u> 、 <u>柳自治会</u> 、 <u>ストークマンション花小金井自治会</u> （下線有：防災訓練実施の自治会）				H29. 12. 4 第1回会議

【資料】

- ・統計東久留米 平成29年度版／平成30年3月発行
- ・障害者手帳所持者数（市障害福祉課／平成30年4月1日現在）
- ・首都直下地震等による東京の被害想定（平成24年4月18日公表）／東京都防災ホームページ
- ・第九小学校の周辺地域の防災状況（平成29年11月10日作成）／市防災防犯課